

事業所名

あおぞらクラブ6

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

2 月

17 日

法人（事業所）理念		①障害のある人たちを主人公として、発達と権利保障を大切にした実践をめざします。②利用者・家族・職員は、対等・平等の関係を築き、それぞれが主体者となるため、民主的で開かれた運営をめざします。③障害のある人たちの要求実現に向けた事業の発展と地域に開かれた施設づくりをめざします。④障害のある人が安心して住める町を、地域住民とともに作り、発展させることをめざします。⑤公的に福祉が保障されることを願い、一人ひとりの人間が大切にされる、平和で民主的な社会の発展をめざします。												
支援方針		①集団遊びを通して、子ども同士が楽しさを共感し、協力し合い、相手を受け入れることや自分の気持ちを伝えることなど子ども同士の繋がりを大切にした支援を行います。 ②外遊びを通して、思い切り身体を動かし、基礎体力を付けられるように支援します。 ③家族が抱える子どもの問題や悩みについて一緒に考え、必要に応じて関係機関との連携を図り、解決に向けて支援します。												
営業時間		14 13 10	時	30 30 30	分から	17 16 16	時	30 30 30	分まで	送迎実施の有無	あり	なし		
支 援 内 容														
本人支援	健康・生活	●散歩や遊具で身体を動かし、適度に運動する機会を設定する。●着替えや片付けなど身の回りのことを行う場面を設定し、自信や達成感に繋がられるようにする。●体温測定や家族・本人・学校と連携し、心身の把握をする。●手洗い、うがい、消毒など感染症対策をする。												
	運動・感覚	●外遊びや音楽を通して、身体を動かし楽しさを実感できるようにする。 ●手先などを使う創作を定期的実施し、機能性を高める。												
	認知・行動	●始まりの会で写真や絵カードを活用し、見通しが持てるようにする。 ●イヤマフ等の活用を行い、安心して過ごせるようにする。 ●椅子など姿勢を保持し、取り組みに参加しやすい環境を設定する。												
	言語 コミュニケーション	●思いや気持ちに折り合いを付けながら行動できるようにする。 ●気持ちを身振り（サイン等）や言葉で表現できるようにする。 ●取り組みを通して、他の児童を意識できるような場面を設定する。												
	人間関係 社会性	●取り組みを通して、楽しく関われる職員や他の児童を増やせるようにする。●一方的な関わりではなく、他の児童の気持ちに寄り添った関わりができるようにする。●集団遊びを経験する中で、楽しい雰囲気を実感できるようにする。●日常生活の中で役割を担い、自信や達成感を持てるようにする。												
家族支援		●こどもの発達状況や特性の理解に向けた相談支援。 ●子育ての困りごとへの相談支援。 ●保護者同士の交流の機会提供。 ●子育てや障害に関する情報提供。 ●兄弟姉妹への相談支援。 ※保護者会活動を通して、家族と話しをする機会、家族同士が交流する機会、子育て等に関する学習会など様々な機会を設定しています。					移行支援			●生活介護事業所、自立訓練事業所、ショートステイ、グループホームなどの見学（保護者対象）を行い、卒業後の進路選択に向けての情報提供、相談援助。 ●地域との繋がりの取組（地域の公園、体育館、店などの利用し、地域との接点を持つ） ●併用事業所や学校との情報共有や支援のすり合わせ。（必要に応じてケースカンファレンスの実施）				
地域支援・地域連携		●相談支援事業所・放デイ事業所・学校・病院などの関係機関との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取組。					職員の質の向上			●法人研修（新人研修、5年目研修、リーダー研修、虐待研修など） ●内部研修（事例検討会、療育文献の読み合わせ、虐待研修など） ●外部研修（きょうされん主催の各研修など）				
主な行事等		●お誕生日会、初詣、バレンタイン、ひな祭り、夏祭り、プール、運動会、ハロウィン、クリスマス会など。 ●こどもの日、母の日、父の日など季節に応じた創作活動。 ●調理、おやつ作り、公園、室内ゲーム、トランポリンなどの日常的な取組。外出、外食、体験（飯盒炊爨、アスレチック、雪遊び、山登り）など非日常的な取組。												